

事務事業評価シート(平成22年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名	
10801	病院経営改善事務	辰野総合病院	庶務係	荻原 憲夫	栗林 秀樹	
		一次評価年月日	平成 23 年 6 月 15 日	連絡先(内線)	41-0238	
事務事業実施の根拠・位置づけ	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)		
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別		9203	経費		
				#N/A		
	章 (コード選択)		2章	安らぎとうのいのある社会		
	節 (コード選択)		2節	いきいきとした健康な暮らしを築く		
	項[基本施策] (コード選択)		223	地域医療体制の拡充		
第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ 主な取り組み (コード選択)		2231	辰野総合病院の経営健全化			
関連する計画等への位置づけ		<input type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	
事務期間		(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度		<input type="checkbox"/> 開始時期不明	<input type="checkbox"/> 終期設定なし	

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

職員

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

経営の健全化 医療サービスの向上

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

1	経費の縮減
2	収入の確保
3	業務の委託化
4	人的要因の縮減

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		21年度	22年度	22年度	達成率	22	年度(見込み)	
①	指標名	経常損益	千円	-125,810	-35,910	-75,000	0.48	-35,910
	説明	単年度の赤字黒字の状況 目標値設定の根拠 年度末決算の状況						
②	指標名					#DIV/0!	0	
	説明	目標値設定の根拠						

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		21年度	22年度	22年度	達成率	22	年度(見込み)	
①	指標名	経常損益前年増減の額	千円	36,908	89,900	50,810	1.77	89,900
	説明	単年度の赤字黒字の前年度対比状況 目標値設定の根拠 年度末決算の前年度赤字黒字の増減状況 公立病院改革プランとの整合性						
②	指標名					#DIV/0!	0	
	説明	目標値設定の根拠						

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度										
		決算	決算	決算	見込み										
対前年比	%		99.3	96.4	108.5										
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)	(千円)	1,587,416	1,540,453	1,396,786	1,595,490										
B) 一般財源(税金)	(千円)	275,866	309,719	386,091	338,108										
①事業費	(千円)	1,862,382	1,849,400	1,782,141	1,932,849										
対前年比	%		99.3	96.4	108.5										
②人件費の概算	(千円)	900	772	736	749										
対前年比	%		85.8	95.3	101.7										
		課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費					
		H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H20 H21 H22 H23									
町職員(正規職員)		0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.10 0.10 0.10	900	772	736	749					
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート										0	0	0	0

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	C	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった 町からの繰入金100,000千円の増額があった。 D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	C	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり 業務の委託化と臨時職員の検討 D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している 日々の業務の中で把握 C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

22年4月に新設した医療連携支援室について、レントゲン技師1名を兼務扱いとした。平成22年10月末常勤医師(内科)退職1名減。訪問リハビリの1名増員。院内リハビリの体制強化。急性期病床15床の導入により入院における医師減による収入減をカバーすることができた。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

訪問リハビリ、院内リハビリの体制強化
改正改革プランの実行。

23年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

リハビリ職員の増。訪問リハ用車の購入。リハ用具の購入

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

昨年に比べて常勤医師整形1名減、内科11月から1名減。決算ベースで一般会計繰入金が75000千円増となり厳しい状況。現状医師のがんばりは大、医師確保と、資金確保に努めていかなくてはならない。医療支援室の充実もあり、事業改善に記した事もなされた。病院の方向性に添い具体化していくことが重要。

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止



c 上記 a~e を選択